

田舎暮らし応援プロジェクト事業

—No.56 東秩父村—

【事業の目的】

東秩父村での生活を体験してもらい、空き家又は移住促進住宅への移住の流れを作ることを目的としています。

【事業の内容】

東秩父村への移住促進のため、移住のきっかけ作りとなる体験施設を建設し、本村での生活体験施設として利用します。

本村の知名度の低さ等を鑑みると、移住を決断するには引っ越し後の生活をイメージすることが難しいと考えられます。そのため、まずは「東秩父村」を知ってもらう必要があり、本村のことを知ってもらえれば、移住を本格的に検討してもらうことができると見込んでいます。

移住体験中は、本村で採れた野菜を提供することによる地域食材のアピールや、そば打ち体験の実施などに利用者の参加を促すことで、地域住民とより多く交流できるような施設とすることを目指しています。

【事業年度】

平成30年度～

【予算額(千円)】

52,990千円(平成30年度)

【財源】

地方債、一般財源(村)

ふるさと創造資金 移住トライアル事業補助金(県)

【事業実施に至った背景・経緯】

埼玉県で唯一の村となった東秩父村は、人口減少に歯止めがかからず平成29年度に人口3000人を割る状況となり、平成28年度に空き家等実態調査

を実施した結果、約 1 割（137 件）の空き家がある事が判明しました。

東秩父村まち・ひと・しごと創生総合戦略では村が空き家を買取りリノベーションして賃貸、売却する計画でしたが、1 軒当たりに要する改修費用が膨大となる（建物の老朽化が著しいことが主な理由）こと、及び、移住体験を通じて、体験施設利用者の移住に向けた動きを活性化したいとの考えから、本計画を実施することとなりました。

【事業のPRポイント】

空き家となった築 80 年の古民家の寄附を受け、村が改修を行います。

また、平成 31 年度着工予定の移住促進住宅（アパート）については、世帯ごとに専用の畑を整備し、アパート暮らしをしながらも農業に携われる施設とします。

【今後の展開】

空き家の改修にあたり、村内事業者との連携や、アパートに関して大手住宅メーカーとの連携を図る事で、これまでにない特徴を持った施設にしたいと考えています。

〔 連絡先 〕

企画財政課 地域政策担当 0493（82）1254（内線 161）